

令和2年度		一人一人の確かな学力のために		6年	
学年の目標		2学期中間の児童の様子		3学期末	
基礎・基本	国語	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをもち、伝えられる児童を目指します。そのために、自分の考えをノートに記録する時間を確保してから伝える時間とったり、小グループでの話し合い活動を行ったりします。また、大人数の前で理由や根拠を添えて話せるように指導します。 日常生活にも気を配り、相手や目的に応じて書いたり、話したりすることができるように指導します。 漢字の定着を図るために、ミニテストを週1回程度実施し、間違い直しをする習慣を身に付けさせます。50問テストでは、90点を合格として、合格できるよう自分の学習方法を身に付けられるようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でも可能な限り、小グループでの話し合い活動を行っています。小グループでの話し合い活動では、自分の考えをしっかりと話すことができます。パネルディスカッションをした際には、しっかりと準備をして、資料を提示しながら大人数の前でも理由や根拠を添えて発表することができました。 相手や目的に応じて書くことができる児童が8割程度です。話すことになると5割程度の児童ができています。さらに、敬語を正しく使えるように指導していきます。 漢字のミニテストに向けてどのように取り組みれば合格できるかを考え自分なりの方法で練習に取り組むことができています。習得が進んでいます。ただ、まとめの50問テストになると1回目で90点以上の合格点を獲得できる児童は、6割程度です。さらに習得が進むよう、日記やノートなど文字を書くときには、既習の漢字は必ず使うよう指導していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でもフェイスシールドを活用し距離をとって、小グループでの話し合い活動を行っています。小グループでの話し合い活動では、9割以上の児童が自分の考えを話すことができます。大人数の前では、積極的に話すことのできる児童は、1割程度ですが、必要があれば、7割程度の児童が理由や根拠を添えて話すことができます。 相手や目的に応じて書くことができる児童が9割程度です。話すことになると5割程度の児童ができています。敬語を正しく使うことができる児童は、8割程度です。 漢字のミニテストに向けてどのように取り組みれば合格できるかを考え自分なりの方法で練習に取り組むことができています。習得が速くなりました。3学期は、まだまとめの50問テストを行っていませんが、90点以上の合格点を探るための自分の学習方法の発見や改善ができるよう引き続き指導します。手紙や作文を書く時には、辞書を活用し分からない漢字を調べるなど、既習の漢字を使うことが身に付いた児童は、8割程度です。 	
	算数	<ul style="list-style-type: none"> 問題を解決しながら、学習内容を身に付けられるようにします。既習事項を確認したり、解決の方法をみんなで考えたりしてから取り組ませることで、自力で解決できるように指導し、理解が深まるようにします。 学習した内容の定着を目指します。毎日の宿題で当日の学習内容の計算ドリルを出し復習の習慣を付けます。また、自主学習やテスト前に苦手な問題に取り組むよう声を掛けます。 ワークテストや練習問題で、間違えた原因を追究し、再度問題に取り組み解決し、学習内容を確実に習得できるようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の過程を明確にしているため、子供たちは見通しをもって学習に取り組むことができます。また、授業の前に既習事項を確認してから問題把握することで、自力解決することができる児童が8割程度います。2割の児童には、個別に声を掛け自力解決できるようにしています。 95%以上の児童が毎日の宿題で計算ドリルを活用し、繰り返し練習に取り組むことができています。自主学習やテスト前に苦手な問題に取り組むことができる児童も2割程度います。4年生までの四則計算を苦手と感じている児童が多く、図形や文章問題でも計算でつまづいている児童が少なくありません。3学期の6年間の復習で再度確認したいと思いますが、ご家庭でも、eラーニング等を活用して復習することで力になっていくと思いますのでご協力お願いします。 間違えた原因を追究し、再度問題に取り組み解決している児童は、2割程度です。これができる児童は、力を付けています。できる児童が増えるよう引き続き声を掛けていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 3学期の学習内容は、6年間の復習でした。改めて学習することで忘れていたことを思い出せたり、分からなかった内容が改めて理解することができました。同時に、それぞれの児童の課題も明確になりました。授業中に復習の時間を確保したり、自主学習等でその内容に取り組んだりするよう指導していきます。 9割以上の児童が毎日の宿題で計算ドリルを活用し、繰り返し練習に取り組むことができています。自主学習やテスト前に苦手な問題に取り組むことができる児童は、3割程度です。分数の四則計算(通分・約分含む)、小数のわり算、図形の性質、割合等は、中学校でも活用する学習内容ですので、計算ドリルを活用して復習に取り組むことができるようにします。ご家庭でも3月中の自主学習や春休みの学習に取り入れるようお声掛けをお願いします。 間違えた原因を追究し、再度問題に取り組み解決している児童は、3割程度で、力を伸ばしています。間違った問題に取り組み解決し、繰り返し取り組むことの大切さを伝えていきます。 	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 読書に親しみ、6学年の読書目標10000ページを達成できる児童を目指します。そのために、いつも手元にマイブックを持ち、朝読書の時間だけでなく、隙間の時間に読書に取り組めるようにします。また、日頃から読んだ本を読書貯金箱に記録し、自らの読書量を確認できるようにします。 プレゼンテーションソフトや画像編集ソフトを活用して、資料を作成する方法を指導します。全員が効果的な発表のために必要な資料を自分で作成できるようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> 手元にマイブックを持ち、読書に親しんでいます。自分の興味のある分野の本はもちろんのこと、友達が紹介してくれた本を読んだり、各教科で学習した内容と関係のある本を読んだりするなど、興味の範囲を広げています。10000ページ達成に向けて、1か月1000ページのペースで読んでいます。10月末の時点で7000ページ前後貯金している児童は、6割程度です。読書をしていても記録できていない児童が1割程度いるので引き続き声を掛けます。ご家庭でも声掛けをお願いします。 自分の意見を主張する際に、プレゼンテーションソフトを効果的に活用して伝えたり、目的に応じて画像編集ソフトを活用して映像を作成したりする力を付けました。今後、パソコン等を活用した学習場面が増える予想されますので、タイピング能力も身に付けさせていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 手元にマイブック持ち、読書に親しんでいます。2学期同様読書の興味の範囲が広がり、伝記を読んだり自分の将来に関する本を読んだりしています。2月現在で10000ページを達成することができた児童は、5割程度です。20000ページ、30000ページ読んでいる児童もいれば、4000ページに留まっている児童もいます。学校では、一日平均20分程度読書に取り組んでいます。ご家庭でも読書の時間を1日20分程度確保するようお声掛けをお願いいたします。 自分の意見を主張する際に、プレゼンテーションソフトを効果的に活用して伝えたり、目的に応じて画像編集ソフトを活用して映像を作成したりする力を付けました。さらに、目的や相手を意識したプレゼンテーションができるよう指導します。 	
思考力・表現力・判断力	<ul style="list-style-type: none"> 興味・関心をもったことや学習内容に関係あることを自分の力で調べ解決できる児童を目指します。そのために、読書科や総合的な学習の時間を中心に調べ学習などの探究活動を行っていきます。 自ら課題を見出し、見通しをもって解決することのできる児童を目指します。そのために、授業の始めにめあてを明確にします。また、授業の最後には、まとめ、感想を書いて振り返ることで、自分の達成度を確認したり、次時の課題をもったりする時間を確保します。 自分の考えをもち、友達の意見を聞いて、考えを広めたり、深めたりすることができるようにします。そのために自分の考えをもたせてから話し合いを行うようにします。また、友達の意見を聞いて考えが変わったり、友達の意見に付け加えて話している児童を称賛し、児童がお互いに学び合う力が身に付くようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料を探し、必要な内容を記録する、まとめるなど調べ学習の基礎基本が身に付いており、読書科や社会科、理科、総合的な学習の時間などに活用できています。 どの授業もめあてを明確にしているため、児童は、見通しをもって学習に取り組むことができています。授業の終わりには、自分の達成度を確認することができます。次時の課題をもつことができるよう工夫していきます。 話し合いでは、友達の意見を受けて関連させて話すことができる児童が増えています。また、友達の意見と自分の意見を比較しながら考えを深められている児童も6割程度います。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料を探し、必要な内容を記録する、まとめるなど調べ学習の基礎基本が身に付いており、読書科や社会科、理科、総合的な学習の時間、自主学習などに活用できています。 めあてを明確にした授業を行っているため、児童は、見通しをもって学習に取り組むことができています。授業の終わりには、振り返りを行うことで、自分の達成度や課題を振り返ることができています。さらに、学習方法や自分の思考の過程も振り返ることで学び方が身に付くよう指導を続けていきます。 話し合いでは、友達の意見を受けて関連させて話すことができます。また、友達の意見と自分の意見を比較しながら考えを深められている児童も7割程度になりました。 		
	学習習慣・学習規律	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項の定着を目指します。そのために、毎日の家庭学習90分(15分×6年生)では、漢字・音読・読書・算数・自主学習に取り組めます。自主学習では、自己の課題を見つけ取り組むことができることを目指します。そのために、課題について相談したり、模範になる児童の取り組みやノートを掲示したり、「鹿骨東小家庭学習の手引き」を活用したりして指導します。 相手に伝わるように話すことができる児童を目指します。声の大きさや話すスピード、表情などを意識して話すことができるよう繰り返し指導していきます。また、話すこと・聞くことの大切さを意識化させるために、聞いている人の方を向いて話すこと、相手の話を受けて話すこと、話している人の方を向いて聞いたりメモを取りながら聞いたりすることを指導していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習期間では、9割の児童が90分以上学習に取り組めたという評価をしていました。ご家庭では、いかがでしょうか。自主学習の内容も繰り返しドリルに取り組むことはもちろんのこと、授業の復習や英単語の練習、興味あることの調べ学習や日記など工夫しています。 相手に伝わる声の大きさが出せるよう繰り返し指導しています。コロナ禍で大きな声を出す機会が少なかったり、出づらかったりしますが必要な時に出来るよう指導を続けていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 3学期の家庭学習習慣でも9割以上の児童が90分以上の学習に取り組めたという評価をしていました。ご家庭での取り組みの様子はいかがでしたでしょうか。自主学習の内容を工夫して取り組むことができています。3割の児童には、引き続き内容の相談に乗り、自分に必要な学習に取り組むことができるようになるよう指導を続けます。ご家庭でも悩んでいる様子がありましたら、お声掛けをお願いします。 相手に伝わる声の大きさが出せるよう繰り返し指導しています。コロナ禍で大きな声を出す機会が少なかったり、出づらかったりしますが必要な時に出来るよう指導を続けています。即座に自分の考えを伝える時には、どうしても声が小さくなってしまふ児童が多いですが、原稿があるものや教科書の内容等繰り返し練習したものについては、9割以上の児童が堂々と話すことができます。 	